

# 安全データシート

作成：2019年8月21日

改定：2022年4月1日

---

整理番号      **POWERTORE PI-801**

---

## 1. 化学物質等および会社情報

### 1-1 製品

製品名      ①パワトレ PI-801  
使用分野      ②塗料ミスト処理  
製品内容      ③塗料ミスト処理剤

### 1-2 供給者情報

会社名      ①株式会社PI  
住所      ②愛知県豊田市陣中町1-22-6  
担当部門      ③薬品事業部 PIケミストリー  
販売者      ④株式会社PI  
電話番号      ⑤0565-77-0106  
FAX番号      ⑥0565-77-5075  
緊急連絡先      ⑦0575-77-0106

## 2. 危険有害性の要約

### 【GHS分類】

火薬類	分類対象外
可燃性/引火性ガス	分類対象外
可燃性/引火性エアゾール	分類対象外
支燃性/酸化性ガス	分類対象外
高压ガス	分類対象外
引火性液体	区分外
可燃性固体	分類対象外
自己反応性化学品	分類対象外
自然発火性液体	区分外
自然発火性固体	分類対象外
自己発熱性化学品	分類できない
水反応可燃性化学品	分類対象外
酸化性液体	分類できない
酸化性固体	分類対象外
有機過酸化物	分類対象外
金属腐食性	分類できない

急性毒性：経口	区分4
急性毒性：経皮	分類できない
急性毒性：吸入（ガス）	分類対象外
急性毒性：吸入（蒸気）	分類対象外
急性毒性：吸入（粉塵・ミスト）	区分4
皮膚腐食性/刺激性	区分1
眼に対する重篤な損傷/ 眼刺激性	区分1
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	区分1
生殖細胞変異原性	区分2
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器/全身毒性 （単回暴露）	分類できない
特定標的臓器/全身毒性 （反復暴露）	分類できない
吸引性呼吸器有害性	分類できない
水生毒性（急性）	区分1
水生毒性（慢性）	分類できない

#### 【GHSラベル要素】

絵表示又はシンボル	腐食性 感嘆符 健康有害性 環境
注意喚起語	危険
危険有害性情報	飲み込むと有害 吸入すると有害 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷 重篤な眼の損傷 アレルギー性皮膚反応を引き起こす恐れ 遺伝性疾患の恐れ の疑い
危険有害性情報  （予防策）	水生生物に非常に強い毒性 1) 予防策については、「7. 取扱いおよび保管上の注意」、「8. 暴露防止措置及び保護措置」を参照。  2) 使用前に取扱説明書を手に入ること 3) 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと 4) 取扱後、手をよく洗うこと

- 5) この製品を使用する時に飲食または喫煙をしないこと  
 6) 汚染された作業着は作業場から出さないこと  
 7) 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること  
 8) ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと  
 9) 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること  
 10) 環境への放出を避けること
- (応急措置)
- 1) 応急措置については、「4. 応急措置」、「5. 火災時の処置」を参照。  
 2) 飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。直ちに医師に連絡すること。  
 3) 吸入した場合：被災者を空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。直ちに医師に連絡すること。  
 4) 皮膚に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと、取り除くこと。  
 皮膚を多量の水と石鹼で洗うこと。直ちに医師に連絡すること。  
 5) 汚染した衣類を再使用する場合には洗濯すること。  
 6) 目に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。  
 7) 暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること。  
 8) 漏出物を回収すること。
- (保管)
- 1) 保管については、「7. 取扱い及び保管上の注意」を参照。  
 2) 施錠して保管すること。
- (廃棄)
- 1) 廃棄については、「13. 廃棄場の注意」参照。  
 2) 内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。

### 3. 組成、成分情報

区別	混合物
化学名	リン系化合物 植物（マツ、柿タンニン）の抽出液
《リン系化合物A》	
CAS No.	記載せず

含有量	2～4%
化審法	記載せず
安衛法	記載せず
《リン系化合物B》	
CAS No.	記載せず
含有量	0.5～2%
化審法	記載せず
安衛法	記載せず

#### 《水、無機塩等》

CAS No.	記載せず
含有量	90～97%
化審法	記載せず
安衛法	記載せず

#### 4. 応急措置

飲み込んだ場合	口をすすぐ。直ちに医師に連絡する。 無理に吐かせてはならない。 被災者を空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
吸入した場合	直ちに医師に連絡する。
皮膚に付着した場合	直ちにすべての汚染された衣類を脱ぐ/取り除く。多量の水と石鹼で洗う。 直ちに医師に連絡する。 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯する。
目に入った場合	水で数分間注意深く洗う。次にコンタクトレンズを着用して容易に外せる 場合は外す。その後も洗浄を続ける。直ちに医師に連絡する。

#### 5. 火災時の処置

消火方法	不燃性。 周辺火災の場合、速やかに容器を安全な場所に移す。移動できない場合、 容器に放水し、冷却する。
消火剤	霧状の水、大量の水、炭酸ガス、粉末消火剤、泡消火剤

#### 6. 漏出時の措置

- 1) 人を退避させ、飛散・漏出した周辺にロープを張り、「立ち入り禁止」の措置を行う。
- 2) 作業の際は、保護具を着用し、風上で作業をする。保護具については「暴露防止措置」を参照のこと。
- 3) 漏出した製品をスコップ等を使って容器に回収する。必要なら砂等を撒いて、出来るだけ回収する。
- 4) 漏出した跡を大量の水で洗い流す。溶液が河川等の公共水系に流れ出さないように注意する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

- 1) 取り扱う場合は、保護具を着用のこと。保護具については、「暴露防止措置」参照のこと。
- 2) 食べ物、飲料に近づけない。
- 3) 皮膚に触れさせない。眼に入らないようにする。
- 4) 取扱後は、うがいをし、手、回答をよく洗う。
- 5) 作業服に付着した場合は、汚れをよく洗い落
- 6) 容器を転倒、落下又は引きずる等の乱暴な取扱いをしてはならない。

### 保管

- 1) 換気の良い、直射日光の当たらない乾燥した屋内に保管する。
- 2) 保管中、容器は密閉する。
- 3) 飲食物と区別して保管する。生活区域に近づけない。

## 8. 暴露防止措置及び保護措

### 設備対策

屋内使用の場合、装置を密閉化し、局所排気装置の設置が必要。全体排気装置の設置を推奨する。  
 取扱い場所の近くにシャワー、手洗い、洗顔、洗眼設備を設け、その位置を明確に表示する。

### 目の保護具

ゴーグル型

### 手の保護具

ゴム・塩ビ等の不浸透性手袋

### 呼吸器用の保護具

有機ガス用防毒マスク

### 皮膚及び身体の保護具

材質を特定しないが、長袖・長ズボン、安全靴、つなぎ服の着用を推奨する。

## 9. 物理及び化学的性質

外観等	
形状	液体
色	淡黄透明色
臭い	微臭
融点	データなし
沸点	データなし
粘度	データなし
溶解度	水に易溶
比重	1.08～1.15 (25℃)

## 10. 安定性及び反応性

引火点	測定不能
発火点	なし
安定性・反応性	通常の実験条件下では安定である。

## 11. 有害性情報

### 総合的な有害性情報

- 1) 急性毒性（経口）：加算式から1493mg/kgとなったため、区分4とした。
- 2) 急性毒性（経皮）：加算式から2214mg/kgとなったため、区分3とした。
- 3) 急性毒性（吸入）：加算式から1.18mg/Lとなった。水溶液であることからミストと判断し、区分4とした。
- 4) 生殖細胞変異原性区分2の成分（無機塩）を1.0%以上含有するため、区分2とした。
- 5) 皮膚腐食・刺激性、眼に対する重篤な損傷/眼刺激性、感作性（皮膚）  
：有効成分をそれぞれ濃度限界値（5%、3%、1%）異常含むため区分1とした。

### 急性毒性

《リン系化合物A/リン系化合物Bの9～21%水溶液のデータ》

急性経口毒性	LD50（ラット）：457mg/kg
急性経皮毒性	LD50（ウサギ）：660mg/kg
急性吸入毒性	LD50（ラット）：0.33mg/L（4hr）

## 12. 環境影響情報

### 環境影響情報

- 1) 加算式から0.68mg/Lとなったため、水生毒性（急性）区分1とした。
- 2) 水生生物に対する非常に強い毒性がある。

## 環境毒性

《リン系化合物A/リン系化合物Bの9～21%水溶液のデータ》

### 急性魚毒性

LC50（ニジマス）：0.19mg/L（96hr）

## 13. 廃棄場の注意

- 1) 保護具を着用のこと。保護具については、「暴露防止措置」参照のこと。
- 2) 可燃性溶媒に溶解し、アフターバーナー及び排ガススクラバー付（洗浄剤：アルカリ水溶液）の産業廃棄物焼却炉で焼却する。
- 3) 外部に委託する場合は、産業廃棄物処理業者に委託する。

## 14. 輸送上の注意

荷役中の取り扱いは、慎重丁寧に行い、手かぎの使用・転倒・落下・衝撃等により容器を傷め、内容物を飛散させてはならない。輸送中は、容器を同様、摩擦、転倒、落下が起こらないように積載・輸送する。

国連分類（クラス）	8（腐食性物質）
国連分類（容器等級）	II
国連分類（国連番号）	1760
海洋汚染物質	該当

## 15. 適応法令

《毒物及び劇物取締法》	非該当
《消防法》	非該当
《労働安全衛生法》	
通知対象物質	非該当
表示物質	非該当
《化学物質管理促進法》	非該当
《海洋汚染防止法》	
海洋汚染物質	該当

記載内容は、現時点で入手した資料・情報・データに基づいて作成しておりますが、記載のデータ及び評価については必ずしも完全な保証をなす物ではありませんので、取扱いには十分に注意して下さい。

記載してある注意事項等は、通常の取扱いを対象にしたもので、特別な取扱いをする場合はさらに